

2021年5月吉日

会員各位

大阪国際サイエンスクラブ  
理事長 宮部 義幸

## 第58回通常総会並びに記念講演会のご案内

拝啓 春暖の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は当クラブの運営等に種々ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

この度、第58回通常総会を下記の通り開催させていただきます。総会後には引き続き記念講演会も開催致しますので、会員の皆様方には、お忙しい中とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

### 第58回 通常総会

日時：2021年6月9日（水） 15時00分～

場所：大阪科学技術センター 7階 700号室 または オンライン参加  
(新型コロナウイルス感染症の状況により、オンラインのみとなる場合もございます。)

- 議案：1. 2020年度事業報告・決算について  
2. 2021年度事業計画・予算について  
3. 会員区分の新設（定款の改正）について  
4. 役員を選任について

注) 総会用資料は、5月17日より当クラブホームページの会員専用ページに掲載します（現時点では事務局案の段階ですが、最終版は総会前の常任理事会の承認を得たのちに差し替えさせていただきます）。

なお、今回は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮して、懇親会は行わないことと致します。悪しからずご了承下さい。

### 記念講演会

講師：吉野 彰 氏  
旭化成株式会社 名誉フェロー

日時：2021年6月9日 16時00分～17時30分  
場所：大阪科学技術センター 8階 大ホール または Zoomによるオンライン聴講  
(新型コロナウイルス感染症の状況により、オンラインのみとなる場合もございます。)

### テーマ：「リチウムイオン電池が拓く未来社会」

吉野彰さまは、軽量かつ高出力で、繰り返し充電して使えるリチウムイオン電池の研究、開発に携わってこられました。小型で高性能な充電電池であるリチウムイオン電池は、スマートフォンやノートパソコンなどの携帯型電子機器を急速に普及させ、情報技術社会の発展に大きく貢献されました。また、電気自動車にも使用され、化石燃料に頼らない社会の実現に向けた功績も高く評価されています。本講演会では、自身のご研究や受賞されるまでのご苦勞、そしてリチウムイオン電池から考える今後の社会などについてご講演頂きます。

#### 吉野 彰 さま ご略歴

1948年大阪府生まれ。1972年京都大学大学院工学研究科石油化学専攻修士課程を修了。同年旭化成株式会社に入社し、主として機能性高分子等の研究開発業務に従事。1981年から新型二次電池の研究に着手し、1985年にリチウムイオン二次電池を発明。1992年に東芝との合弁会社株式会社エイ・ティー・バッテリーの設立に携わり、リチウムイオン二次電池を事業化。この業績に対し国内、国外の団体から多くの賞を受賞し、2004年度には紫綬褒章、2013年にロシアのGlobal Energy Prize、2014年に米国のNational Academy Charles Stark Draper Prizeを受賞。2019年12月、スウェーデン王立科学アカデミーからノーベル化学賞を受賞。



現職：旭化成株式会社 名誉フェロー  
産業技術総合研究所 GZR センター長  
技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター理事長  
名城大学終身教授  
九州大学栄誉教授  
工学博士

#### <参加費>

無料

#### <ご出欠について>

準備の都合上、同封はがきにて、5月28日(金)までに事務局へご出欠のご連絡をお願い致します。  
通常総会ご欠席の場合、委任状には必ずご捺印頂きますようお願い致します。

以上